

平成21年1月
長官官房総務課

第17回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成20年11月5日(水)午後1時00分から午後3時10分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英 首都大学東京都市教養学部長(座長)

妹尾 堅一郎 東京大学特任教授

田邊 國昭 東京大学大学院法学政治学研究科教授

西川 元啓 新日本製鐵株式会社顧問

櫻井 敬子 学習院大学法学部法学科教授

警察庁

片桐 裕 官房長

金高 雅仁 総括審議官

井上 美昭 官房審議官(生活安全局)

西村 泰彦 官房審議官(刑事局)

深草 雅利 官房審議官(交通局)

石井 隆之 官房審議官(警備局)

吉原 順二 技術審議官

種谷 良二 総務課長

植田 秀人 総務課情報公開・個人情報保護室長

若田 英 国際課課長補佐

大平 修 科学警察研究所総務部長(オブザーバー)

4 議題

(1) 国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画(案)

(2) 平成21年度政策評価の実施に関する計画(案)

(3) 平成21年度実績評価計画書(案)

(4) 総合評価書 警察による国際協力の推進(案)

(報告事項)

- ・ 規制の事前評価書の作成・公表について

5 議事要旨

- (1) 「国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（以下「基本計画」という。）（案）」、「平成21年度政策評価の実施に関する計画（以下「実施計画」という。）（案）」及び「平成21年度実績評価計画書（以下「実績評価計画書」という。）（案）」について、事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

暦年単位のデータと年度単位のデータについて、政策評価において使う際の基準を明確にする必要がある。

実績評価方式の各業績目標について、基本計画に掲げる政策評価の5つの観点（必要性、効率性、有効性、公平性及び優先性）のうちどの観点に基づいて評価するのかを明確にする方がよい。

実績評価計画書（案）の重要犯罪及び重要窃盗犯の検挙率に関する業績指標の達成目標は、表現が明確ではないことから、明確にできないか。

消費者に関する事犯は大きなテーマであることから、今後、実績評価計画書における業績目標の設定をより充実させる方向で検討してはどうか。

基本計画（案）、実施計画（案）及び実績評価計画書（案）における「IT」（又は「ICT」）といった用語については、当該用語に係る政府の使用状況を踏まえた上、適切なものを選択して使用する方がよい。

- (2) 「総合評価書 警察による国際協力の推進（案）」について長官官房から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

海外の治安をよくすることが結果的に日本の治安をよくすることにつながるという考え方の定着状況や、海外へ職員を派遣する際の安全確保の状況等について、言及した方がよいのではないか。

- (3) その他、銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律案により新設される規制の事前評価書の作成・公表について、事務局から説明がなされた。

平成21年7月
長官官房総務課

第18回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成21年6月12日（金）午後1時00分から午後3時00分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英 首都大学東京都市教養学部長（座長）

妹尾 堅一郎 東京大学特任教授（知的資産経営）

西川 元啓 新日本製鐵株式会社顧問

警察庁

片桐 裕 官房長

金高 雅仁 総括審議官

栗生 俊一 政策評価審議官

園田 一裕 官房審議官（生活安全局担当）

西村 泰彦 官房審議官（刑事局担当）

深草 雅利 官房審議官（交通局担当）

石井 隆之 官房審議官（警備局担当）

吉原 順二 技術審議官

種谷 良二 総務課長

木岡 保雅 情報通信企画課長

植田 秀人 総務課情報公開・個人情報保護室長

藤本 隆史 会計企画官

大庭 靖彦 科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

平成20年実績評価書（案）

（報告事項）

- ・ 規制の事前評価書の作成・公表について
- ・ 平成20政策評価実施結果報告書(案)について

5 議事要旨

- (1) 「平成20年実績評価書（案）」について事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

「評価の結果」には、評価期間後であっても、業績指標としている数値等に特筆すべき変化がある場合には、その変化の内容を盛り込むなど現状を踏まえた記載にするとよい。

分かりやすい評価書とする観点から、警察における取組みで国民の関心の高いものについて具体的な施策内容を記載したり、統計の取り方が分かりにくいものについて注釈を付けたり、政府としての取組状況が分かるよう関連省庁の取組状況を記載したりするとよい。

達成したという評価の業務であっても、まだまだ取り組むべき事項が残されているものもあることから、評価に満足することなく、更なる業務の推進に取り組んでほしい。

定量的な指標だけにすると、数値目標だけが一人歩きすることがよくあることから、定量と定性を組み合わせた指標にするとよい。

業務の多くが今後も継続して行うものが多いところ、評価を行う際は、課題に触れた上で、その課題を克服するために今後どのように取り組んでいくかを記載するなど次につながる書き方にするとよい。

- (2) その他、規制の事前評価書の作成・公表及び平成20年政策評価実施結果報告書(案)について事務局から説明がなされた。

平成22年3月
長官官房総務課

第19回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成22年2月5日（金）午後1時30分から午後3時15分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英	首都大学東京法科大学院教授（座長）
田邊 國昭	東京大学大学院法学政治学研究科・公共政策大学院教授
西川 元啓	新日本製鐵株式会社顧問
櫻井 敬子	学習院大学法学部法学科教授

警察庁

米田 壯	官房長
坂口 正芳	総括審議官
栗生 俊一	政策評価審議官
園田 一裕	官房審議官（生活安全局）
神山 憲一	官房審議官（刑事局）
横山 雅之	官房審議官（交通局）
鎌田 聡	官房審議官（警備局）
福島 章	技術審議官
種谷 良二	総務課長
樋口 真人	情報通信企画課長
桐原 弘毅	総務課情報公開・個人情報保護室長
聖成 竜太	国際課理事官
金山 泰介	警察大学校警察政策研究センター所長（オブザーバー）
大庭 靖彦	科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

- (1) 国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（案）
- (2) 平成22年度政策評価の実施に関する計画（案）
- (3) 平成22年度実績評価計画書（案）
- (4) 総合評価書 G8司法・内務大臣会議等における国際的な枠組みを活用した治安対策の推進（案）

5 議事要旨

- (1) 「国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（以下「基本計画」という。）（案）」、「平成22年度政策評価の実施に関する計画（以下「実施計画」という。）（案）」及び「平成22年度実績評価計画書（以下「実績評価計画書」という。）（案）」について、事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

実績評価計画書（案）の透視鏡の整備率に関する業績指標の達成目標について、具体的数値目標を定めるべきではないか。

実績評価計画書（案）の暴力団排除条項の整備率に関する業績指標の達成目標について、より高い数値目標を掲げられないか。

実績評価計画書（案）の歩行中・自転車運転中の交通事故死者数に関する業績指標の達成目標は、現状を踏まえた妥当な目標値となっているか。

- (2) 「総合評価書 G8 司法・内務大臣会議等における国際的な枠組みを活用した治安対策の推進（案）」について長官官房から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

今後、評価書を作成する際には、問題点を克服するためにどのようなことが必要とされるかなど具体的記述をより一層増やし、今後にかせるようにしてはいかがか。

平成22年7月
長官官房総務課

第20回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成22年6月11日（金）午前10時00分から午前11時40分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英	首都大学東京法科大学院教授（座長）
田邊 國昭	東京大学大学院法学政治学研究科・公共政策大学院教授
西川 元啓	新日本製鐵株式会社顧問
櫻井 敬子	学習院大学法学部法学科教授

警察庁

米田 壯	官房長
坂口 正芳	総括審議官
栗生 俊一	政策評価審議官
菱川 雄治	官房審議官（生活安全局）
神山 憲一	官房審議官（刑事局）
横山 雅之	官房審議官（交通局）
鎌田 聡	官房審議官（警備局）
福島 章	技術審議官
種谷 良二	総務課長
樋口 真人	情報通信企画課長
桐原 弘毅	総務課情報公開・個人情報保護室長
高木 勇人	官房参事官（企画担当）
金山 泰介	警察大学校警察政策研究センター所長（オブザーバー）
大庭 靖彦	科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

- (1) 国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（案）
- (2) 平成21年度実績評価書（案）
- (3) 総合評価書 警察改革の推進（案）

（報告事項）

- ・ 規制の事前評価書の作成・公表について
- ・ 平成21年度政策評価実施結果報告書（案）について

5 議事要旨

- (1) 「国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（以下「基本計画」という。）（案）」及び「平成21年度実績評価書（以下「実績評価書」という。）（案）」について、事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

実績評価書（案）中の「犯罪予防対策の推進による安全・安心なまちづくり」において、法務省から提供を受けている出所情報の活用状況について言及すべきではないか。

より一層事例が多く記載されており、警察の活動内容が分かりやすく、良い評価書となっている。

- (2) 「総合評価書 警察改革の推進（案）」について長官官房から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

総合評価書（案）において、大量退職問題に対してどのように対処するのかについて言及すべきではないか。

ここ10年間の警察活動について、十分に記載されており、読み応えのある評価書となっている。

- (3) その他、規制の事前評価書の作成・公表及び平成21年度政策評価実施結果報告書（案）について事務局から説明がなされた。

平成23年3月
長官官房総務課

第21回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成23年2月15日（火）午前10時00分から午前11時40分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英	首都大学東京法科大学院教授（座長）
妹尾 堅一郎	東京大学特任教授
田邊 國昭	東京大学大学院法学政治学研究科・公共政策大学院教授
西川 元啓	新日本製鐵株式会社顧問
櫻井 敬子	学習院大学法学部法学科教授

警察庁

米田 壯	官房長
坂口 正芳	総括審議官
栗生 俊一	政策評価審議官
菱川 雄治	官房審議官（生活安全局）
神山 憲一	官房審議官（刑事局）
佐々木 真郎	官房審議官（交通局）
鎌田 聡	官房審議官（警備局）
福島 章	技術審議官
山下 史雄	総務課長
樋口 真人	情報通信企画課長
桐原 弘毅	総務課情報公開・個人情報保護室長
安森 智司	警察大学校警察政策研究センター所長（オブザーバー）
大橋 亘	科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

- (1) 平成23年度政策評価の実施に関する計画（案）
- (2) 平成23年度実績評価計画書（案）

(3) 規制影響分析書（「規制の事前評価」の事後検証）（案）

警備業法施行令の一部を改正する政令（平成17年政令第244号）により新設された規制

- ・警備業者が書面交付に代えて情報通信の技術を利用する方法を用いる場合の手續
- ・登録講習機関の登録の有効期間を3年とする。

5 議事要旨

(1) 「平成23年度政策評価の実施に関する計画（案）」及び「平成23年度実績評価計画書（案）」について、事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

「平成23年度実績評価計画書（案）」の業績指標の達成目標について、「を図る。」、「を実施する。」等、各部局ごとに言葉の使い方が異なっている。達成目標が努力目標的な表現となっている。

警察の実績評価は全体として非常に良く機能していると思う。

(2) 「規制影響分析書（「規制の事前評価」の事後検証）（案）」について生活安全局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

今回の規制影響分析が、平成16年の警備業法の改正ではなく、平成17年の警備業法施行令の改正で定められた規制について検証を行ったものであるということが明確になるよう記載すべきではないか。

平成23年7月
長官官房総務課

第22回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成23年6月22日（水）午後1時00分から午後2時25分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英	首都大学東京法科大学院教授（座長）
妹尾 堅一郎	東京大学特任教授
櫻井 敬子	学習院大学法学部法学科教授

警察庁

米田 壯	官房長
坂口 正芳	総括審議官
栗生 俊一	政策評価審議官
田中 法昌	官房審議官（生活安全局）
神山 憲一	官房審議官（刑事局）
佐々木 真郎	官房審議官（交通局）
鎌田 聡	官房審議官（警備局）
水本 善文	技術審議官
山下 史雄	総務課長
樋口 真人	情報通信企画課長
桐原 弘毅	総務課情報公開・個人情報保護室長
大橋 亘	科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

(1) 議題

平成22年度実績評価書（案）

目標管理型の政策評価の改善方策に係る試行的取組の実施について

(2) 報告事項

規制の事前評価書の作成・公表について

平成22年度政策評価実施結果報告書（案）について

5 議事要旨

- (1) 「平成22年度実績評価書（案）」について、情報公開・個人情報保護室長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。

研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

個々の業績指標の達成度と業績目標全体の評価との関係（評価基準）を、計画の段階から明確にすべきではないか。

組織犯罪対策の評価で「目標の達成が十分とは言い難い」が多いが、報道等によると山口組・弘道会対策等をよくやっている印象が強い。

- (2) 「目標管理型の政策評価の改善方策に係る試行的取組の実施について」について、総務課長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。

研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

国の政策で必要なことをやるのにエネルギーを使うのは良いが、なるべく無駄を省いていただきたい。

個別の案件であれば、うまく当てはまるのもあるのではないか。

大変ですねとしか言いようがない。やるのであれば、こちら側に得になるような工夫が必要である。

- (3) 「規制の事前評価書の作成・公表について」及び「平成22年度政策評価実施結果報告書（案）」について、情報公開・個人情報保護室長から報告がなされた。